

皮膚科・泌尿器科・産婦人科・性病科で以下の該当疾患に対して全数把握を行った。対象疾患は、梅毒、淋菌感染症、咽頭淋菌感染症、非淋菌性尿道炎、性器ヘルペスウイルス感染症（初発あるいは初感染）、性器ヘルペスウイルス感染症（再発）、尖圭コンジローマ、性器クラジミア感染症（発症者）、性器クラジミア感染（妊婦健診）、咽頭クラジミア感染症とした。

全数把握疾患の梅毒、定点把握4疾患（淋菌感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、性器クラジミア感染症）の報告基準は感染症発生動向調査における各疾患の報告基準を準用した。

評価は3年ないし2年間の疾患ごとの性別、年齢群別の人口10万対での報告件数を示す。また、発生動向調査に対象となっている5疾患に関しては、発生動向での報告数も人口10万対として比較する。

発生動向と本調査の一致度を評価するために以下の推定を行う。つまり、本調査での疾患別県別性別年齢群別報告数を被説明変数とし、発生動向調査での疾患別県別性別年齢群別報告数、および調査年ダミー、年齢群ダミーに回帰させる。この推定における発生動向

調査での疾患別県別性別年齢群別報告数が正で有意の場合には、発生動向調査が増加（減少）した際に本調査での疾患別県別性別年齢群別報告数も増加（減少）していることを意味する。

### C. 結果

図 1-1.~10.~10-1.~10.には疾患ごと最初に各県、続いて4県合計（3年分）と7県合計（2年分）がまとめられている。また各図には、年齢計での人口10万対の頻度を示している。

また、図 11-1.~4.~図 12-1.~4.には発生動向調査における4疾患における、本報告での医療機関ごとの報告頻度の分布を示している。特に、定点医療機関であるか否かを色で示している。

推定結果は表1にまとめられている。発生動向調査の推定値が正で有意なのは性器クラジミア感染症では、千葉（男性）、石川（男性・女性）、岐阜（男性）、徳島（女性）、7県計（女性）、性器ヘルペスウイルス感染症では、千葉（女性）、岐阜（男性）、徳島（男性）、茨城（男性）、尖圭コンジローマでは、岩手（女性）、兵庫（男性）、徳島（男性）、淋菌感染症では、

岩手(男性・女性)、7 県計(男性)であった。

#### D. 考察

4つの発生动向調査における定点把握感染症の内、最も多くで発生动向調査と本調査の傾向が一致していたのは、性器クラミジア感染症で7回、性器ヘルペスウイルス感染症で5回、尖圭コンジローマと淋菌感染症でそれぞれ3回であった。特に石川県における性器クラミジア感染症では、男性も女性も有意であった。

本調査の協力医療機関が毎年大きく変化することは考えにくいですが、脱落は当然起こるので、微妙な変化はその影響を受けていることは否定できない。

#### E. 結論

本来であれば医療機関名で名寄せして、2ないし3年間継続して回答のあった医療機関のみを検討の対象とすることがより好ましいが、医療機関名が読み取れない回答が少なくなく、現時点では実現に至っていない。調査票配布時点でコードを付して配布するなど、工夫が必要であると考えられた。

#### 参考文献

[1] 大日康史・岡部信彦,「性感染症の患者数全数把握の試み」,平成18年度厚生労働科学研究費(新興・再興感染症研究事業)「性感染症に関する特定感染症予防指針の推進に関する研究」,2007.

[2] 大日康史・岡部信彦,「性感染症の患者数全数把握の試み」,平成19年度厚生労働科学研究費(新興・再興感染症研究事業)「性感染症に関する特定感染症予防指針の推進に関する研究」,2008.

(熊本班)

#### F. 健康危険情報

特になし

#### G. 論文発表

特になし

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

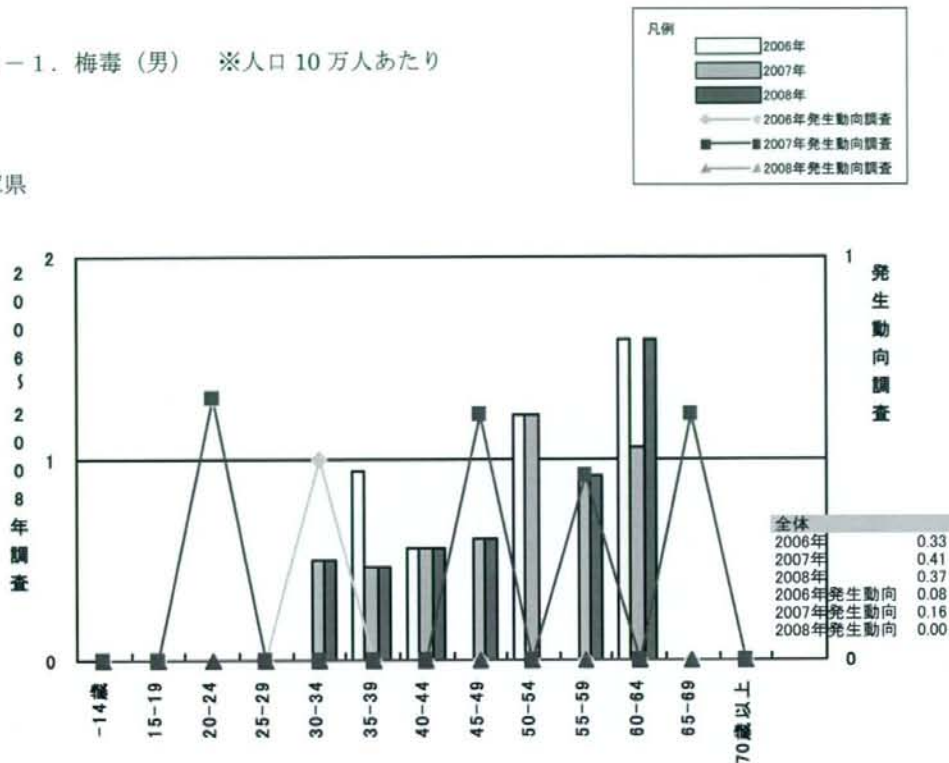
特になし

表1：推定結果

		性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
		推定値	確率値	推定値	確率値	推定値	確率値	推定値	確率値
岩手	男性	1.106685	0.125	.5908764	0.593	.3934362	0.417	1.610233	0.000
	女性	.7460588	0.388	1.617296	0.065	1.976682	0.013	2.743151	0.000
千葉	男性	1.402271	0.010	-.182942	0.501	.6133469	0.221	.3486219	0.407
	女性	-.9640195	0.009	1.626227	0.003	-.4673834	0.358	.4846051	0.373
石川	男性	.9472526	0.000	-.0078389	0.957	.2917466	0.584	.2120552	0.524
	女性	1.526212	0.000	.466577	0.418	.7290817	0.697	.7355346	0.135
岐阜	男性	1.11962	0.010	.447918	0.017	.4762788	0.171	.4160927	0.178
	女性	-.2936271	0.809	-.2148535	0.787	-.2393736	0.646	-.1319509	0.099
兵庫	男性	.0770505	0.714	.5699356	0.079	.3943616	0.018	.5379561	0.099
	女性	.1499528	0.704	.2472241	0.375	.8520697	0.155	-.0263785	0.810
徳島	男性	-.3444819	0.459	1.049046	0.004	1.862017	0.004	.2782168	0.581
	女性	1.90966	0.008	.9629968	0.392	-2.261856	0.001	NA	NA
茨城	男性	1.277845	0.127	1.25195	0.031	-3.748624	0.050	1.108171	0.166
	女性	-3.152366	0.038	.1052873	0.654	.5731151	0.509	-1.388342	0.331
4県計	男性	.1385839	0.626	.4580918	0.145	.5318048	0.077	.5504464	0.252
	女性	.1748578	0.758	.403607	0.471	-.8833225	0.122	-.1034946	0.668
7県計	男性	-.063738	0.900	.1111609	0.664	.0113712	0.978	1.499893	0.005
	女性	5.257021	0.002	.3377554	0.601	.3910294	0.708	-.3258346	0.356

図1-1. 梅毒（男） ※人口10万人あたり

兵庫県



千葉県

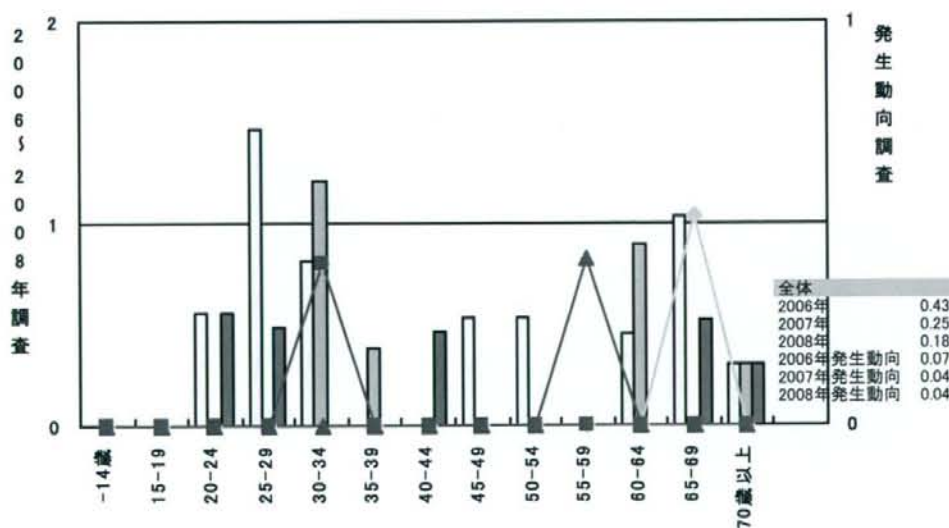
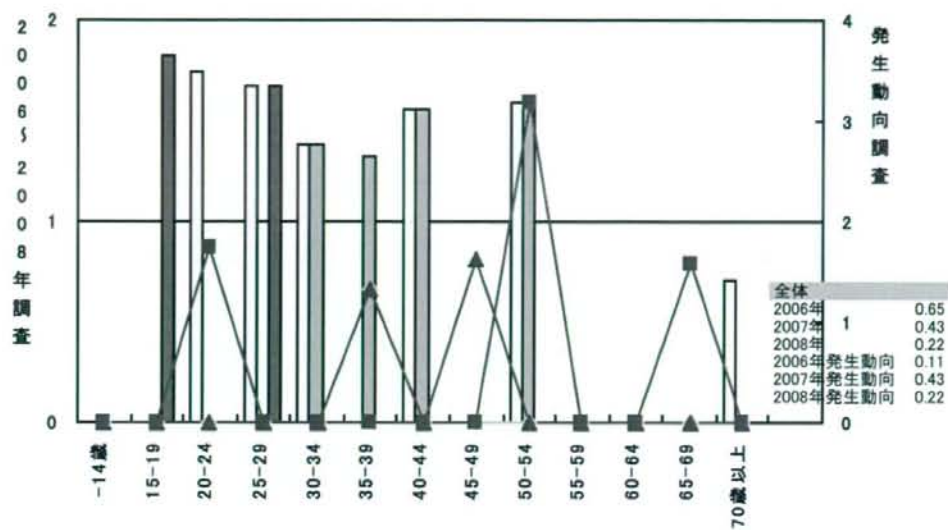


図1-2. 梅毒(男) ※人口10万人あたり

岐阜県



石川県

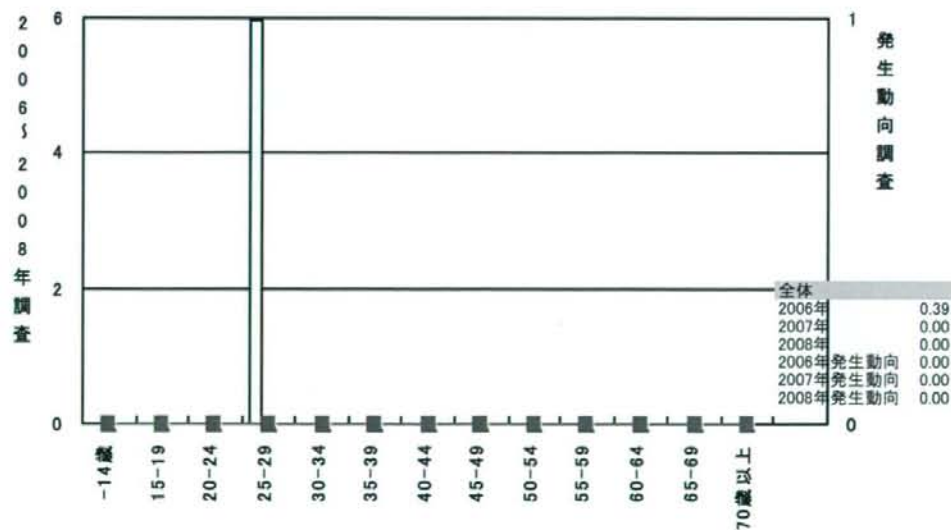
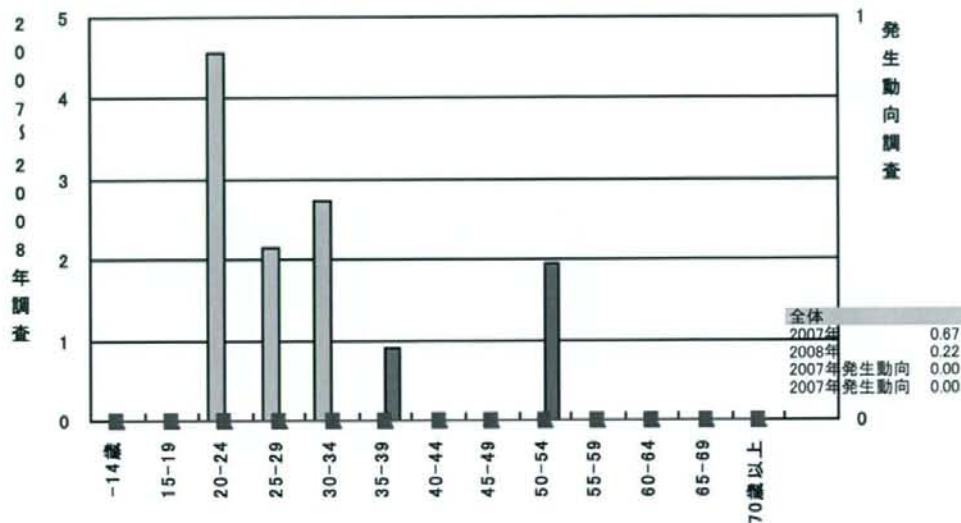


図1-3. 梅毒（男） ※人口10万人あたり



茨城県



岩手県

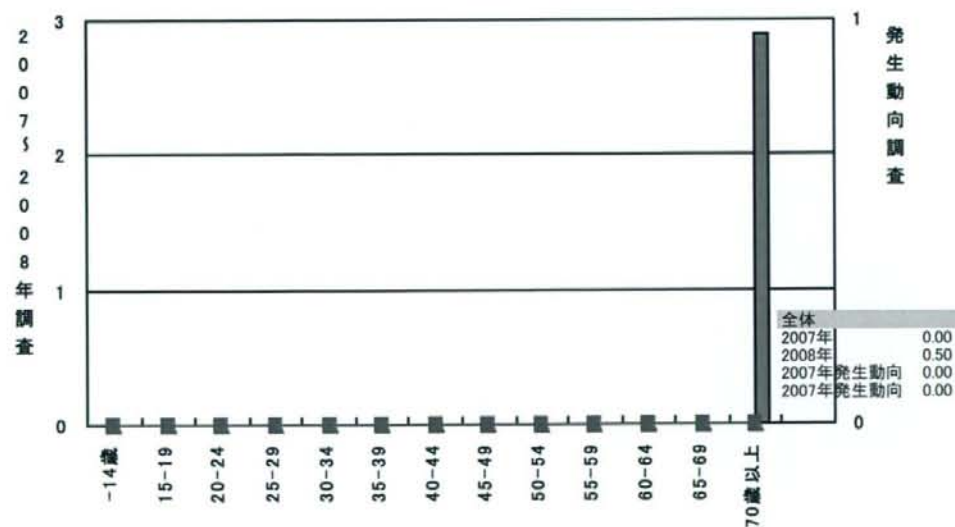


図1-4. 梅毒（男） ※人口10万人あたり

徳島県

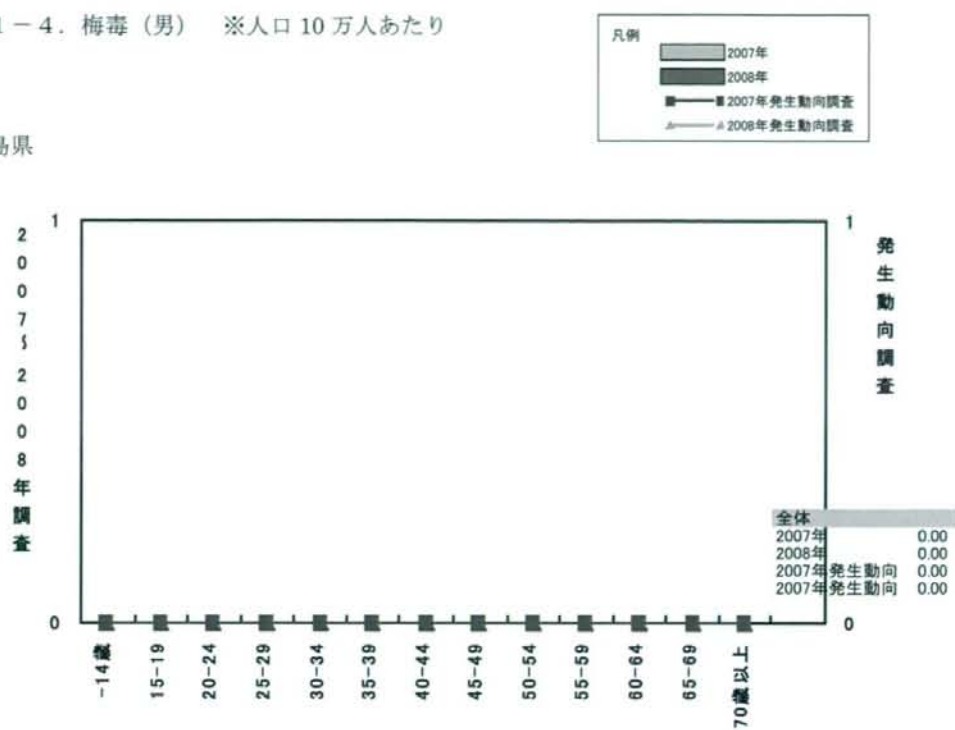
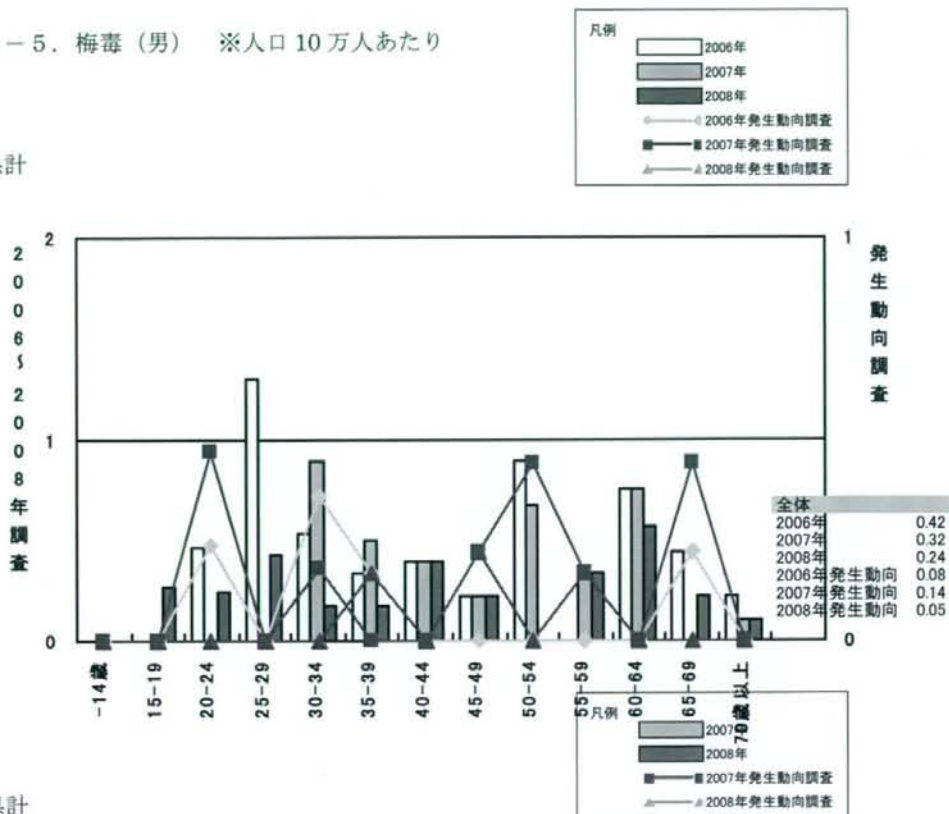


図1-5. 梅毒（男） ※人口10万人あたり

4 県計



7 県計

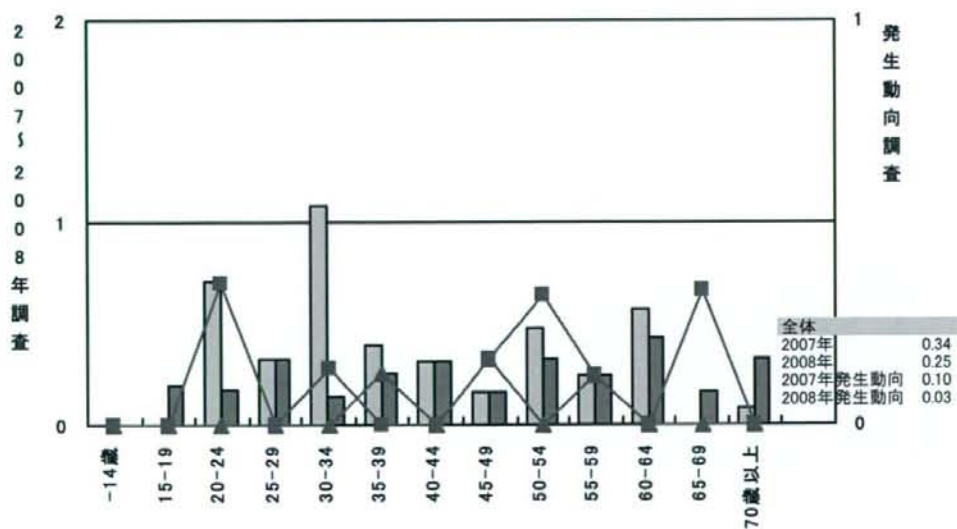
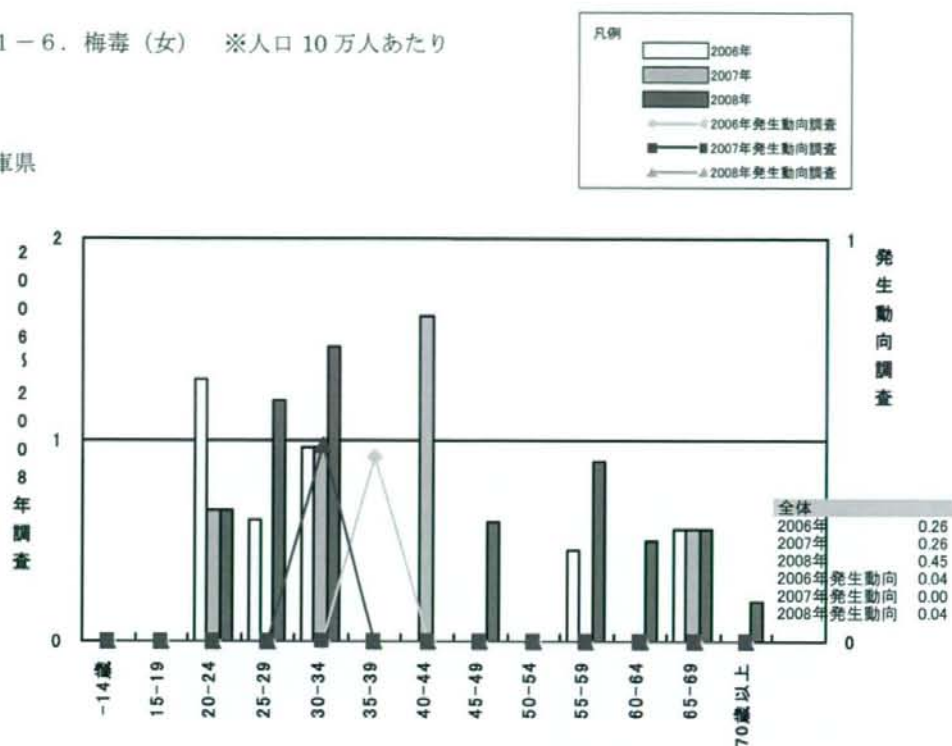




図1-6. 梅毒(女) ※人口10万人あたり

兵庫県



千葉県

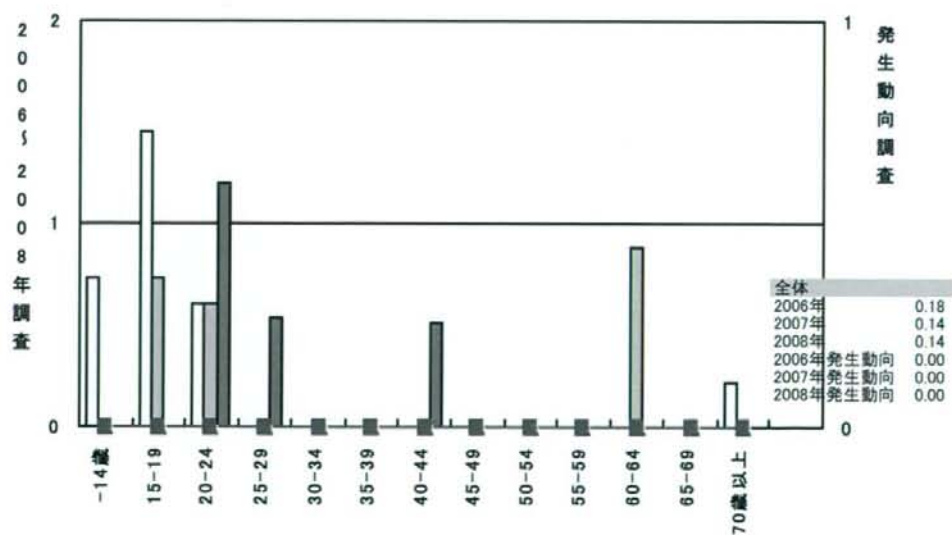
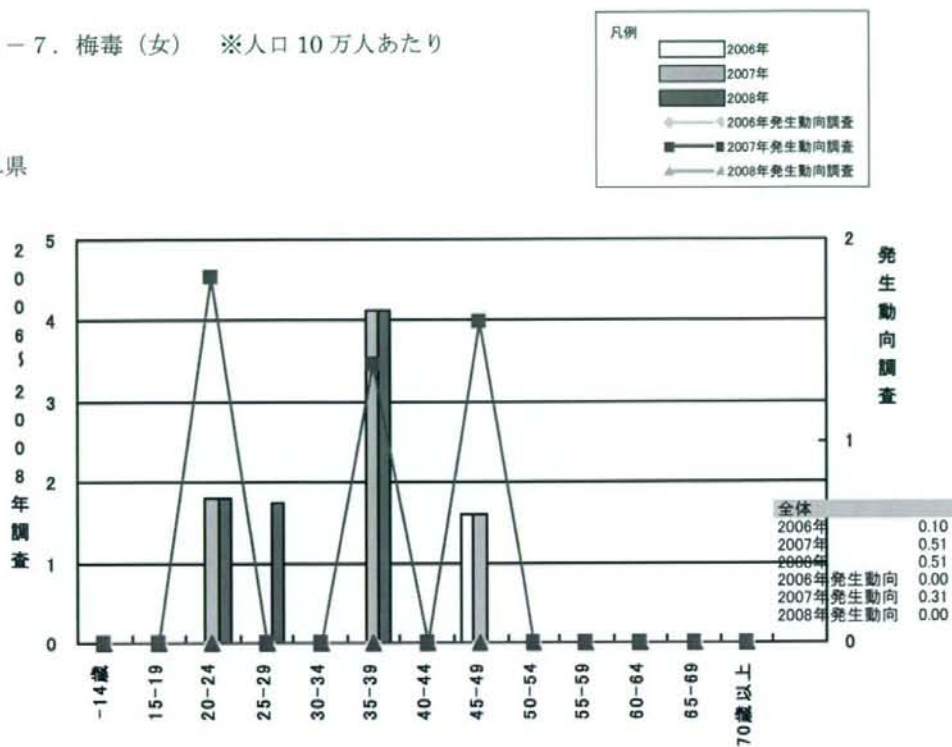


図1-7. 梅毒（女） ※人口10万人あたり

岐阜県



石川県

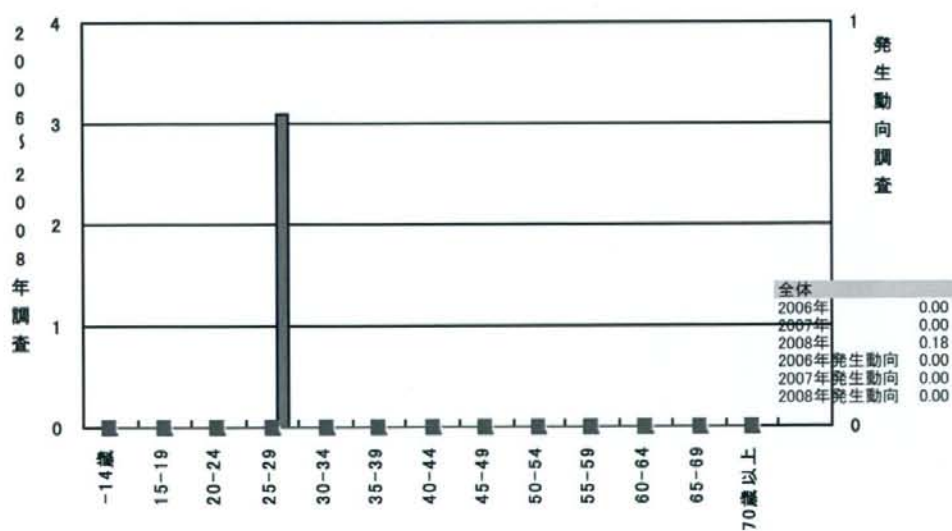
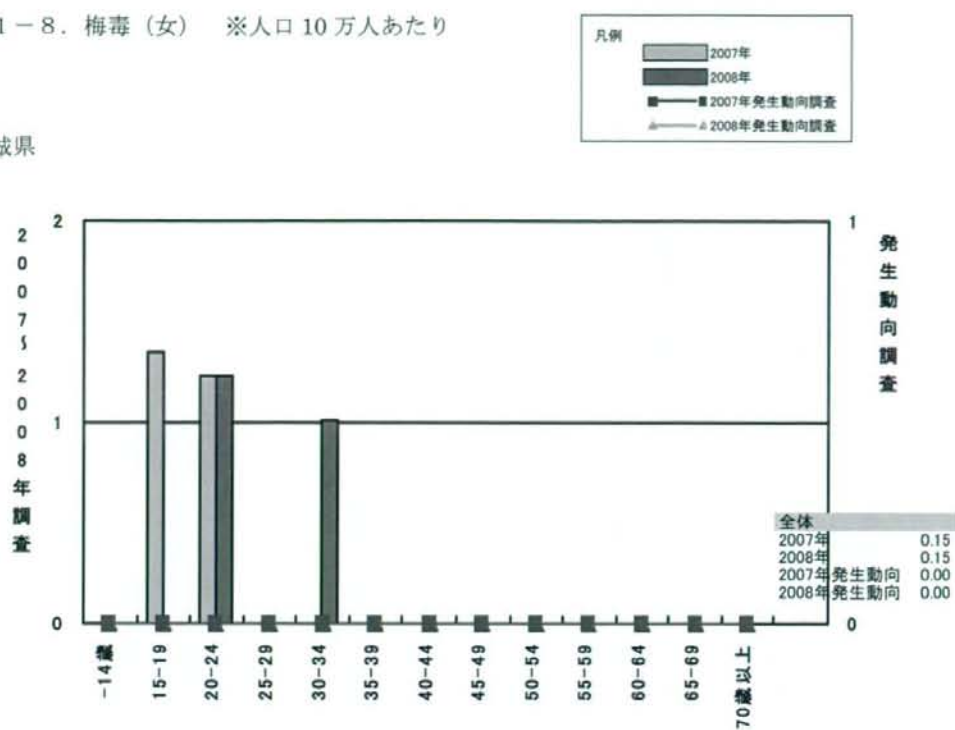


図1-8. 梅毒（女） ※人口10万人あたり

茨城県



岩手県

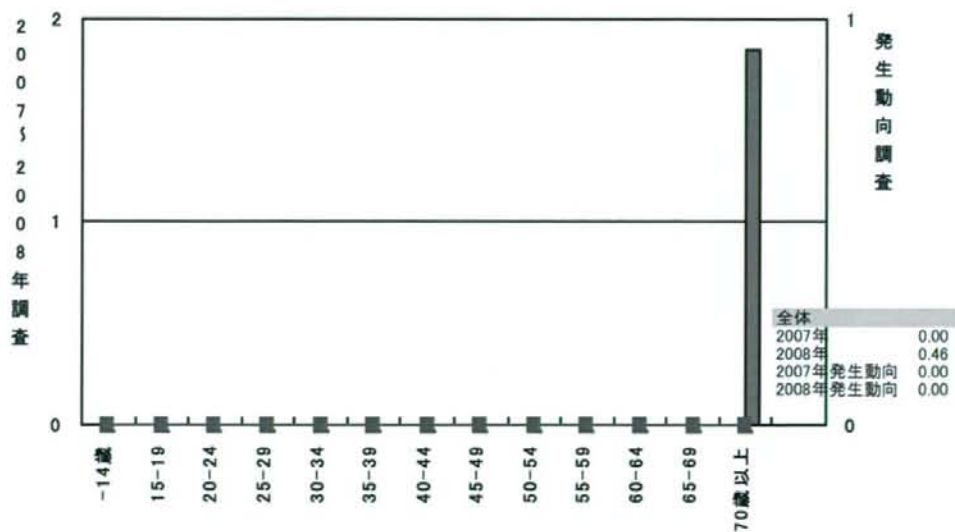


図1-9. 梅毒（女） ※人口10万人あたり

徳島県

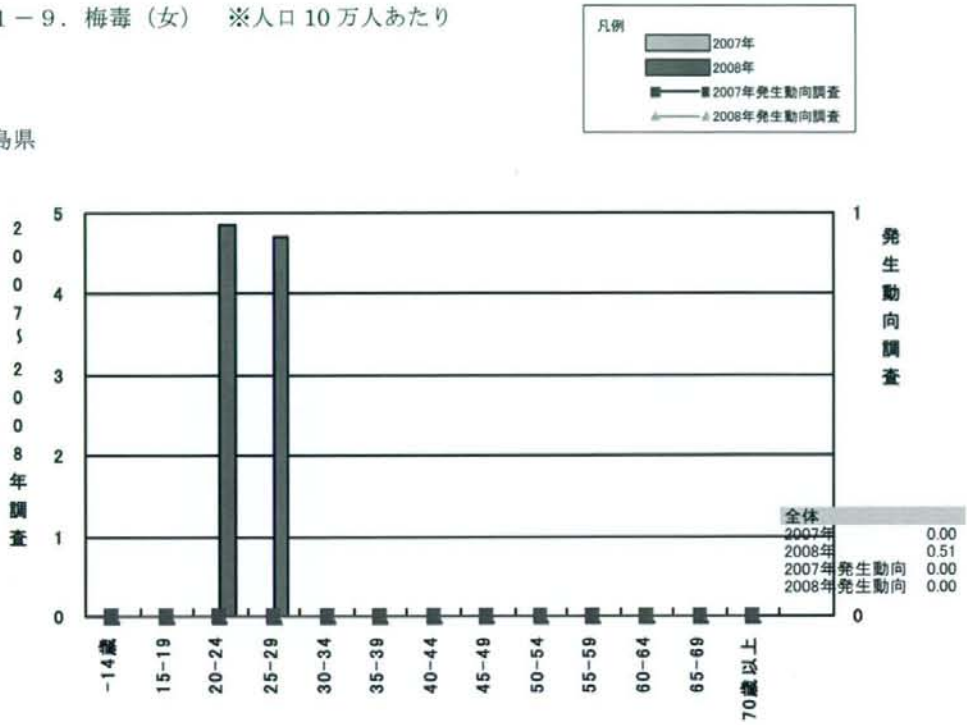
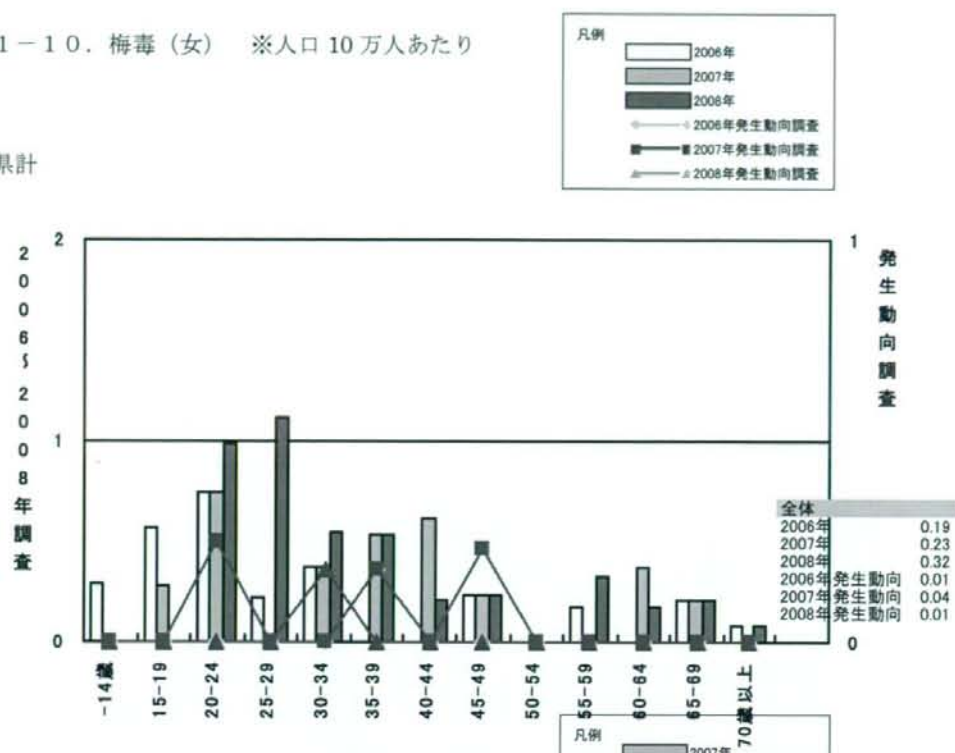


図1-10. 梅毒(女) ※人口10万人あたり

4 県計



7 県計

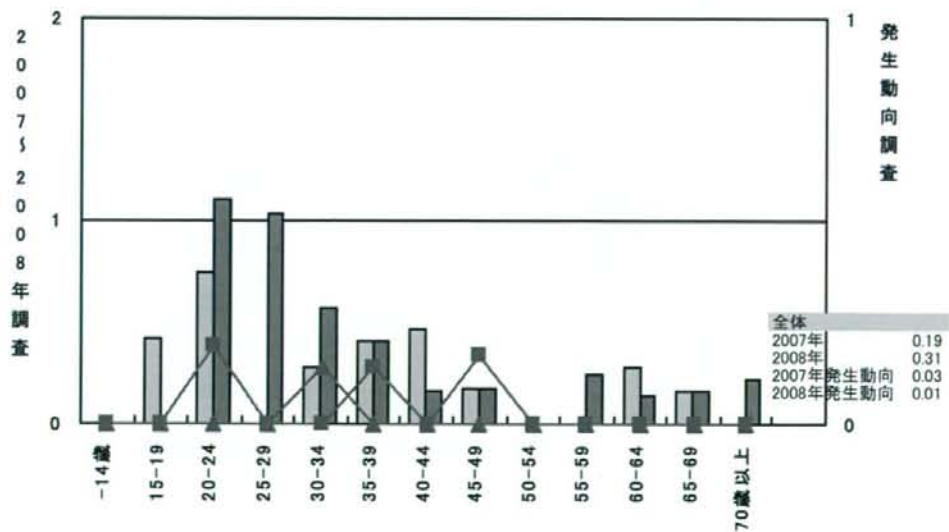
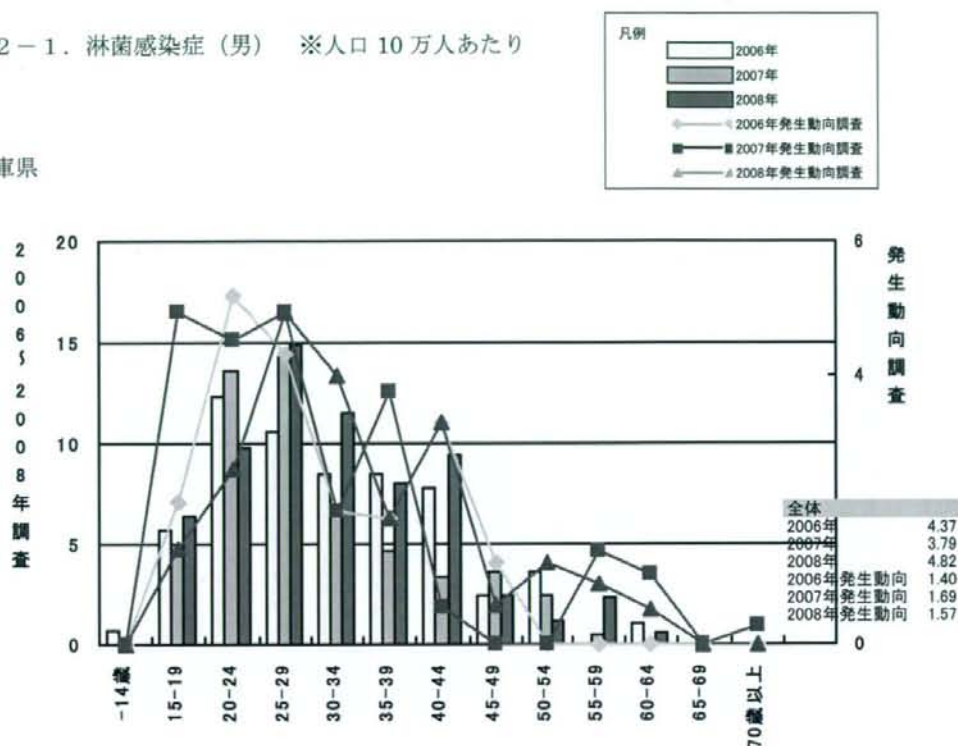


図2-1. 淋菌感染症(男) ※人口10万人あたり

兵庫県



千葉県

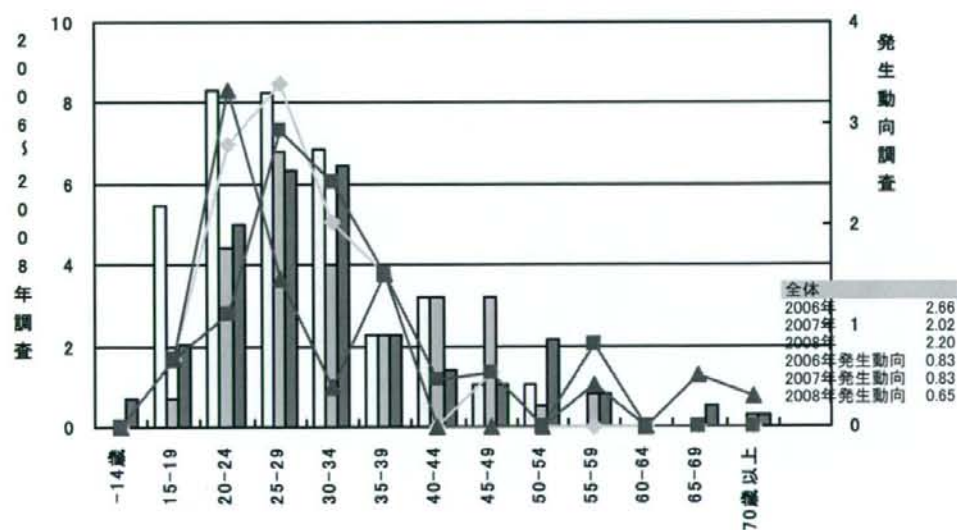
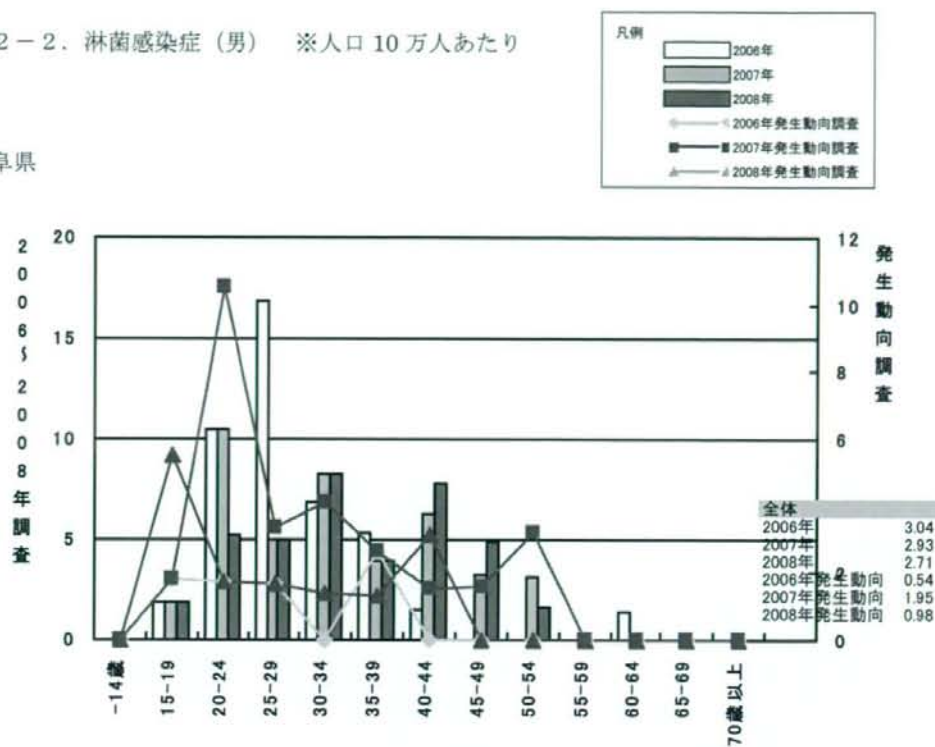


図2-2. 淋菌感染症(男) ※人口10万人あたり

岐阜県



石川県

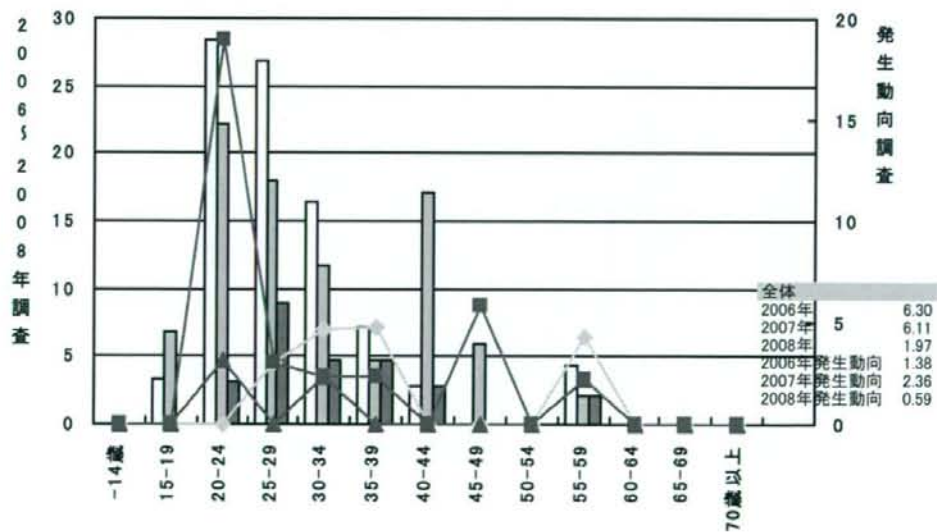
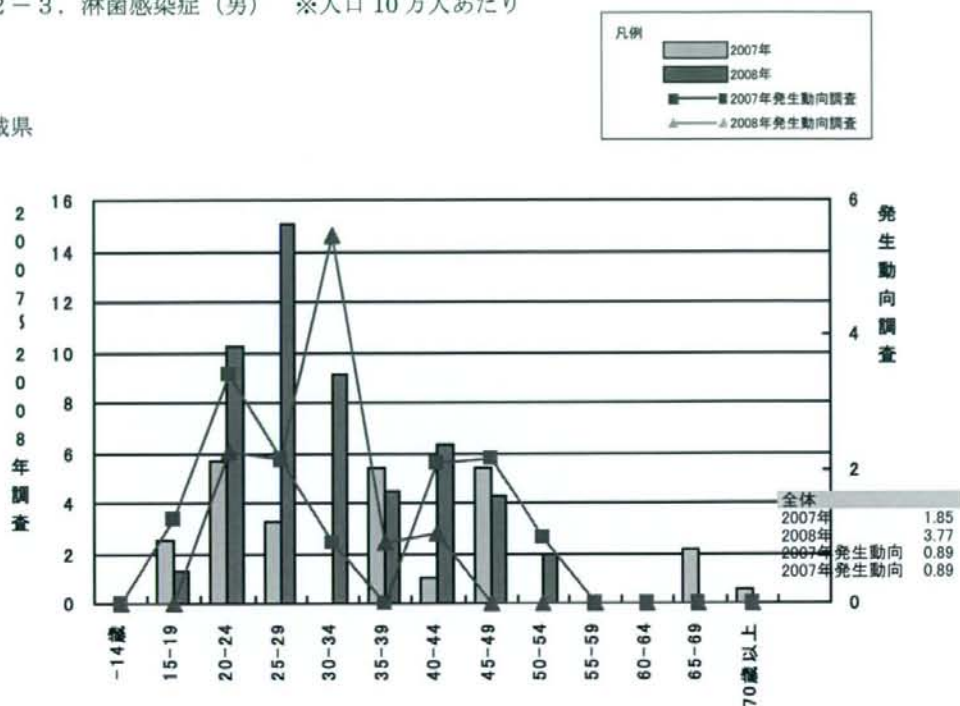


図2-3. 淋菌感染症(男) ※人口10万人あたり

茨城県



岩手県

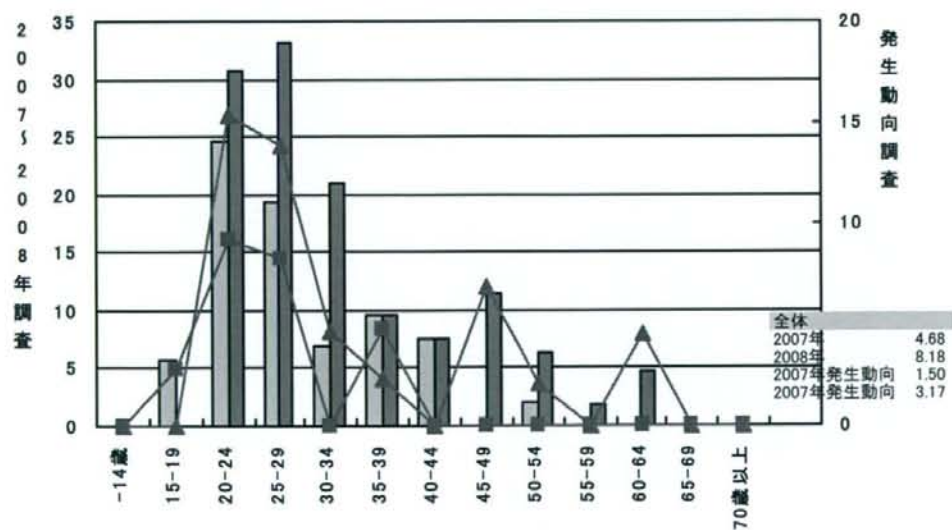




図2-4. 淋菌感染症（男） ※人口10万人あたり

徳島県

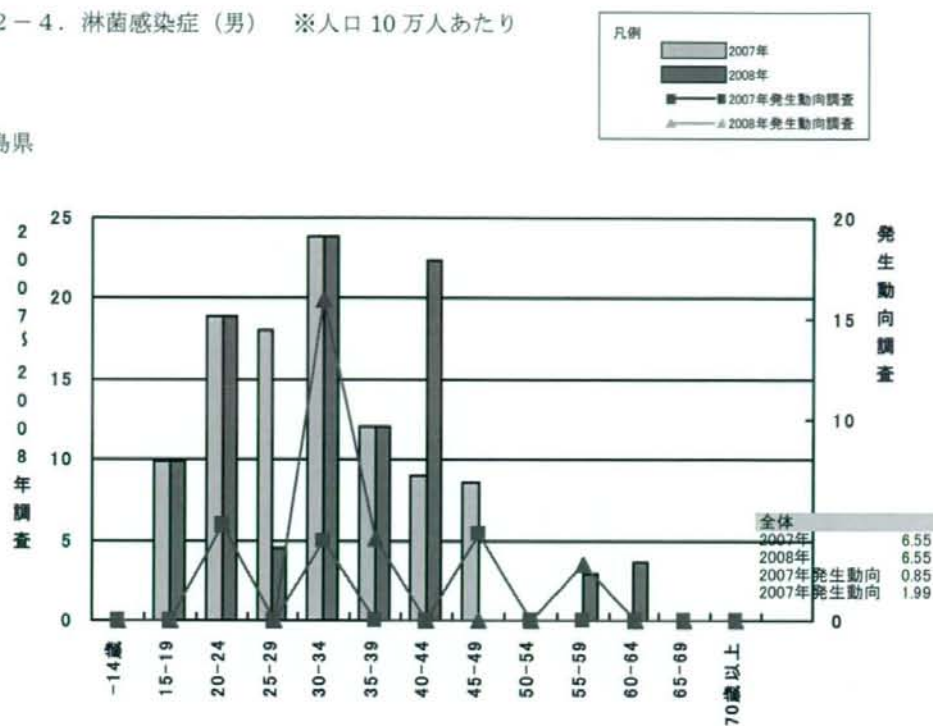
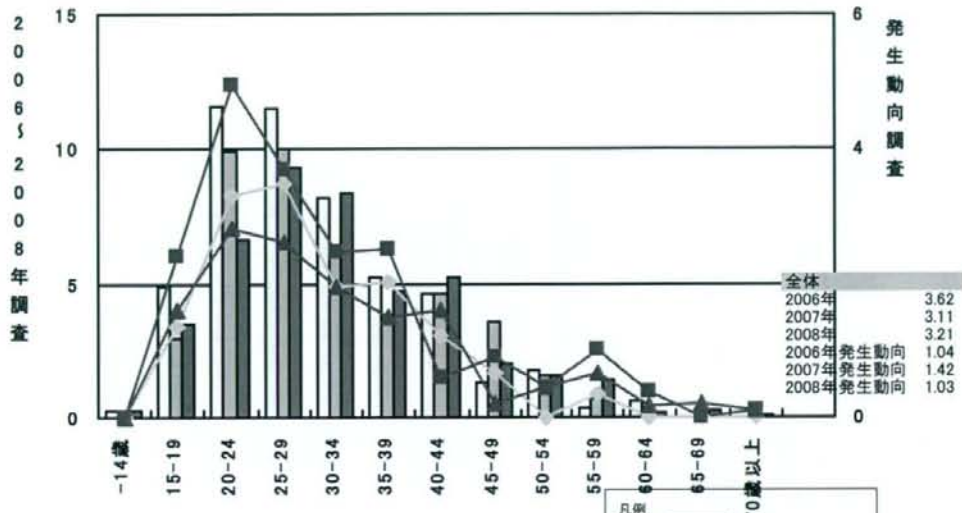


図2-5. 淋菌感染症(男) ※人口10万人あたり

4 県計



7 県計

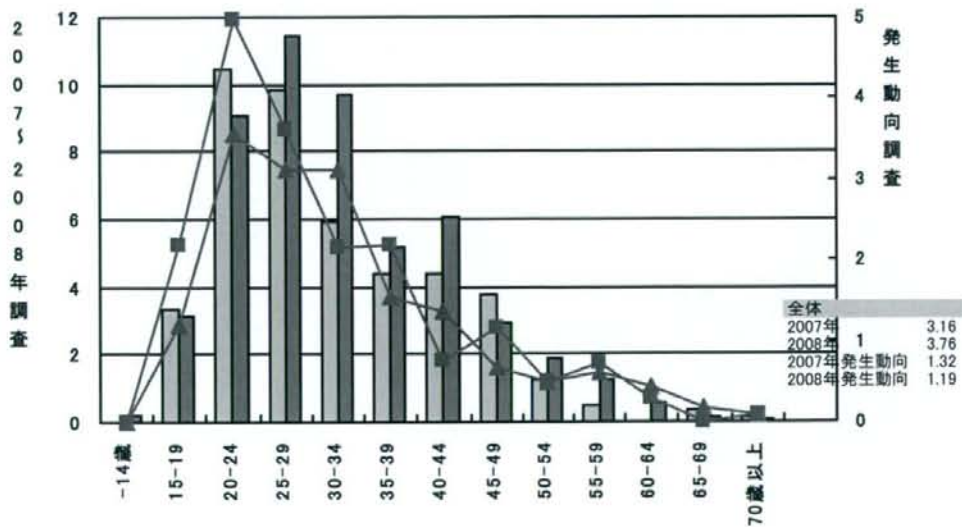
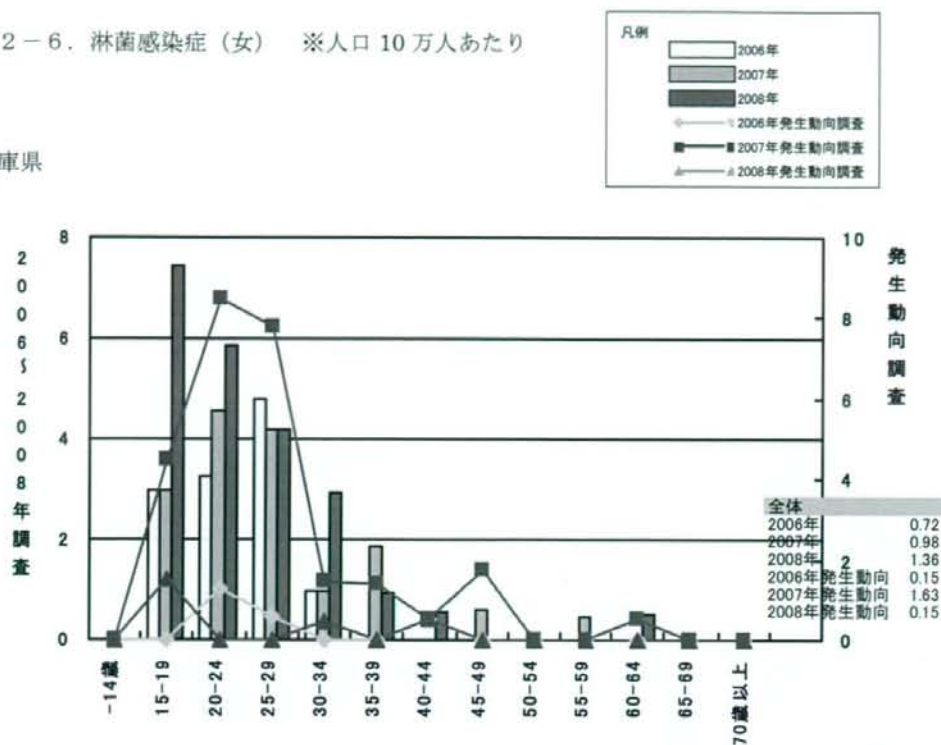


図2-6. 淋菌感染症(女) ※人口10万人あたり

兵庫県



千葉県

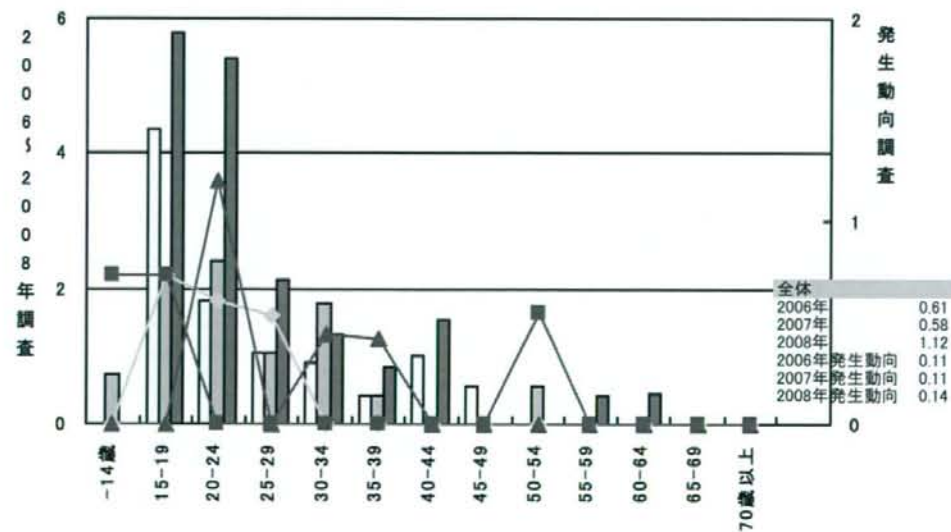
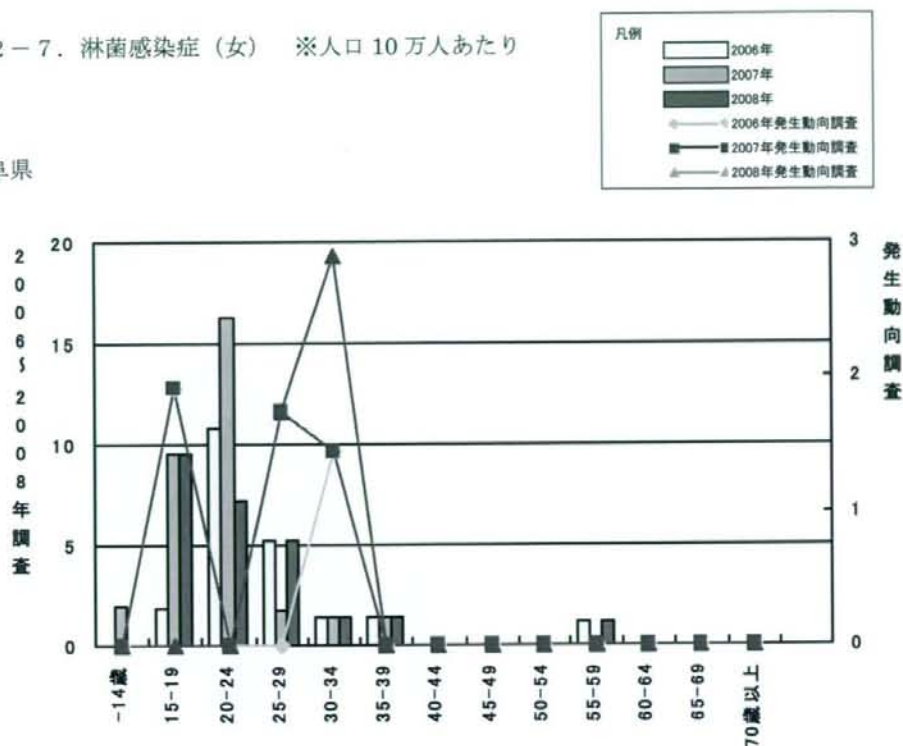


図2-7. 淋菌感染症(女) ※人口10万人あたり

岐阜県



石川県

